



目次

(1) バリアフリー推進ネットワークからのお知らせ

平成17年度バリアフリー優秀大賞、バリアフリー奨励賞が決まりました
第4回交通バリアフリー推進の集いの結果報告
交通バリアフリー推進の集い冊子配布について

(2) ネットワーク参加団体からのお知らせ

第24回 日本福祉のまちづくり関西セミナー
くれ福祉の街づくりフォーラム

企業と行政の最先端の「EPA-デザイン」第3回 ~今EPA-デザインの展開に求められている課題とは何か~
合宿型移送サービス運転協力者・コーディネーター講習会

(3) エコモからのお知らせ

平成17年度手話教室が終了

アクセシブルデザインフォーラム・シンポジウム2005

「参加型福祉の交通まちづくり」が、第3回三井住友海上福祉財団賞を授賞しました

「参加型・福祉の交通まちづくり~交通バリアフリー法を中心にプロセスを学ぶ」~発刊しました

バリアフリー学習図鑑「みんなで考えるバリアフリー」(CD-ROM)の公開

らくらくおでかけネット

公共交通ターミナルのバリアフリー度評価について

(4) 行政からのお知らせ

~すべての人々が安心して生活できるバリアフリー環境を目指して~ (国土交通省)

交通バリアフリー法移動円滑化基本構想策定状況 (国土交通省)

(5) 各種催し物のお知らせ

バスから地域交通を考える会 活動開始12周年 記念イベント「使える」から「使いやすく」へ
高齢、障害と自立に関する国際会議 (アメリカ)

第3回 環境&福祉ビジネスフェア in Kumamoto

REHAB Scandinavia 2006 - Cure & Care (2006年 北欧福祉展)

バリアフリー2006

第9回 国際福祉健康産業展~ウェルフェア2006~

(6) その他

書籍に関して

記事募集中

お願い(必ずお読みください。)

・転送先について ・送付先について

コラム

(1) バリアフリー推進ネットワークからのお知らせ

平成17年度バリアフリー優秀大賞、バリアフリー奨励賞が決まりました

本年度のバリアフリー優秀大賞が、バリアフリー推進ネットワーク幹事会により、以下のとおり決まりました。大賞受賞者の皆さまは、11月14日に開催された第4回交通バリアフリー推進の集いで表彰されました。また、バリアフリー奨励賞も発表されました。

<<バリアフリー優秀大賞>>

つくばエクスプレス線

(首都圏新都市鉄道株式会社、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構)

フェリーきょうと2/フェリーふくおか2

(株式会社名門大洋フェリー、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構)

ほのぼの安心マップ (ほのぼの広島会)

駅ボランティア事業 (横浜市交通局)

子育て応援タクシー事業 (NPO法人わははネット、有限会社花園タクシー)

<<バリアフリー奨励賞>>

金ケ崎駅合築施設 (岩手県金ケ崎町)

大島航路バリアフリー整備事業 (大島汽船株式会社)

バリアフリーマップづくり (ひとにやさしい地下街ガイドマップの作成)

(大阪地下街株式会社、株式会社グランドプラン研究所)

市民による交通バリアフリーの新たな展開への取り組み (大阪市北区役所)

第4回交通バリアフリー推進の集いの結果報告

11/14(月)「第4回交通バリアフリー推進の集い」を都市センターホールにて開催いたしました。バリアフリー優秀大賞の表彰、バリアフリー奨励賞の発表、アクティブトークは、「これからのバリアフリー」と題し、議論を深めました。当日は、ネットワーク参加団体の他に、自治体、交通事業者等、193名ものご参加を頂きまして、大変ありがとうございました。

当日に配布させて頂きました資料を、ご希望の方はご連絡ください。後日、集いの概要版をホームページに掲載する予定です。

また、この集いに関する感想をお送り頂ければと思います。良かった点、改善すべき点、開催会場、ネットワークについて等々何でも結構ですので、下記宛先まで郵送、FAX、E-mailでお送りください。

宛て先：バリアフリー推進ネットワーク事務局 (交通エコロジー・モビリティ財団) 宛

〒102-0076 千代田区五番町10五番町 KUビル3F

FAX 番号：03-3221-6674 E-mail：ecomomail@ecomomail.or.jp

交通バリアフリー推進の集い、交通バリアフリー推進セミナー報告書配布について

交通バリアフリー推進の集いの当日配付資料(第2回~4回)をご希望の方は、ご連絡ください。

FAX：03-3221-6674 E-mail：ecomomail@ecomomail.or.jp

(2) ネットワーク参加団体からのお知らせ

第24回 日本福祉のまちづくり関西セミナー

今回のセミナーでは、交通バリアフリー基本構想策定後の展開のひとつとして、大阪北区菅北地域で行われた市民ワークショップ活動を取り上げます。

日時：平成17年12月9日(金)16時00分~18時00分(15:30より受付)

場所：ドーンセンター大会議室3(大阪府立女性総合センター) 天満橋駅より東へ約350M

テーマ：「市民力による福祉の交通まちづくりの推進に向けて」

- 市民・行政・アドバイザーそれぞれの役割と連携について考える -

参加費：会員・学生(500円) / 非会員(1000円)

申込方法：氏名・所属・連絡先(電話もしくはメールアドレス)

日本福祉のまちづくり学会員の有無を記入の上、FAXにて送信、またはメールにて各項目をお書き添えの上、下記申し込み先までお申し込み下さい。

申し込み・問い合わせ先：日本福祉のまちづくり学会関西支部事務局 担当・室崎
〒651-2181 神戸市西区曙町 1070 兵庫県立福祉のまちづくり工学研究所内
TEL078-925-9283/FAX078-925-9284/E-mail：gakkai-west@assistech.hwc.or.jp

くれ福祉の街づくりフォーラム

第9回全国大会(2006年8月27-28日：呉市で開催)のプレイベントとして、「くれ福祉の街づくりフォーラム」を開催します。特に「観光」の視点からバリアフリーをとらえ、観光地に望まれるバリアフリー、バリアフリーの大切さ、福祉のまちづくりの実践などについて考えてみたいと思います。

日時：2005年12月10日(土) 13時30分～17時00分

会場：呉大学呉駅前パス教室1(呉市宝町25-1 レクレヴァンデュール呉駅南3階)

参加費：無料

プログラム：基調講演「天下無敵のバリアフリー」おそどまさこ(フリーランスパブリシティー)

井戸ばた会議「私たちにできること」

進行 佐伯達郎((社)建設コンサルタンツ協会中国支部)

話し手 朝迫裕二(呉市青年ボランティア協議会会長)

上田理絵(呉工業高等専門建築学科5年生)

清水幸枝(呉地域障害者生活支援事業運営委員会委員)

森 勝利(バリアフリー研究会代表)

連絡先：今田寛典(呉大学社会情報学部) 広島県呉市郷原学びの丘1-1-1

TEL 0823-70-3300 Email h-imada@kure-u.ac.jp

企業と行政の最先端の「エバ-シティデザイン」第3回 ～今エバ-シティデザインの展開に求められている課題とは何か～

主催：東洋大学ユニバーサルデザインプロジェクト

後援：日本福祉のまちづくり学会、国際エバ-シティデザイン協議会、(財)国土技術研究センター、交通エコービル財団

日時：2005年12月9日(金)13:30～16:30

会場：朝霞キャンパス人間環境デザイン学科工房ホール(東武東上線朝霞台下車徒歩10分)

<http://www.asaka.toyo.ac.jp/campus/access.html#campus>

定員：100名、参加費：無料

講師：三菱電機のエバ-シティデザイン 酒寄映子氏(三菱電機株式会社デザイン研究所開発企画部デザイン戦略グループ)

福岡市交通局の七隈線のエバ-シティデザイン 濱田靖之氏(福岡市交通局技術部施設課)

TOTOのエバ-シティデザイン(予定)

・コメンテーター 川内美彦氏(アクセスプロジェクト主宰)、秋山哲男氏(首都大学東京教授)

・コーディネーター 高橋儀平(東洋大学工学部建築学科教授)

・手話通訳、パソコン要約筆記あり

・懇親会：終了後(会費2,000円)あり

参加申し込み：東洋大学工学部建築学科高橋研究室宛

e-mail：toyo-ud@b-star.ne.jp またはFAX049-239-1400で、お名前、所属、連絡先(e-mail等)、懇親会参加の有無をお書きください。

合宿型移送サービス運転協力者・コーディネーター講習会

“国交省推奨”移送サービス運転協力者講習会

福祉有償運送の「ガイドライン」の中では、運転協力者に対しては「当該地域における交通の状況等を考慮して、十分な能力及び経験を有している」ことが求められています。この判断基準として研修の受講が上げられており、その一つとして「移送サービス運営マニュアル編集委員会が発行する冊子等に基づく研修」が入っております。移送・移動サービス地域ネットワーク団体連合会に参加する地域ネットワーク団体では、この基準に該当した講習会を全国各地で開催するとともに、合宿型の講習会も開催しています。

移送サービスコーディネーター講習会

移送サービスを安全に、円滑にすすめる上で、コーディネーターの役割は重要です。利用者の多様なニーズを受け止めながら、それらをサービスという形で応えるためには、その間にさまざまな連絡や調整を行わなければなりません。この講習は、コーディネーターの役割について、「日常の運営」と「運行管理」の基本的な視点を中心に学ぶことを目的として実施いたします。福祉有償運送の「ガイドライン」の中では、「運行管理」について、道路運送法に基づく運行管理者資格の取得を義務付けていませんが、国土交通省では2004年度に運行管理業務についての標準カリキュラムを策定しています。この講習会は、そのカリキュラムに基づき、コーディネーターとしての運行管理を学べるように企画しています。

開催日 12月10日(土)～11日(日)

同時開催ですが、双方の講習会を同時には受講できません。

会場 津田山オートスクエア セミナハウス 神奈川県川崎市高津区下作延1823

定員 40名(各講習会共)

ボランティア団体やNPO法人等、市民活動による移送サービス実施団体で、運転協力者またはコーディネーターとして活動しているか、活動を始めようとしている方。

運転協力者講習会のみ定員に余裕がある場合は、営利法人の方も参加できます。

参加費 17,000円(各講習会共)

受講料、テキスト代、土曜の夕食、日曜の朝食、昼食、宿泊費、保険料を含む。

問合せ先 移送・移動サービス地域ネットワーク団体連合会

〒162-0828 新宿区袋町24 岡田ビル2F TEL & FAX 03-5261-9009

E-mail accessible-tic@pop16.odn.ne.jp

(3) エコモからのお知らせ

平成17年度手話教室が終了

5月から実施した、交通事業者向けの手話教室は東京地区で去る11月10日、大阪地区では去る11月9日に手話教室を終了いたしました。36名(修了書交付数)の方が手話初級教室を終了いたしました。この36名の数字というのは、単なる2～3日の研修ではなく、7ヶ月間という長い間、教室へ通い、勉強され、且つ7割以上の出席をした方が修了書を受け取ったものであります。

手話教室を修了した受講者からは、「聴覚障害者の方々とのコミュニケーション方法のひとつである手話を学び、聴覚障害者との距離が縮まり理解を深めることができ有意義だった」、「手話は難しいものと思っていたが、講師の方々の工夫された指導により楽しく学ぶことができた。今後も継続して欲しい」、「多くの方々と接する交通事業で勤務する中で、障害をお持ちの方々の立場になった見方ができ大変勉強になった。また、同業他社の方とコミュニケーションを図れて有意義だった」、「聴覚障害者とのコミュニケーションのあり方、心のふれあいの重要性を学んだ」、「手話教室の開講日の休日開講や週2回開催してほしい」との意見がありました。

ここに、この事業に協力して頂いた全日本聾唖連盟、大阪聴力障害者協会、参加頂いた交通事業者及び実施にご協力頂いた関西鉄道協会、関西交通経済研究センターの皆様には深く敬意を表するとともに感謝を申し上げます。

今回、参加して頂いた交通事業者等

小田急電鉄株式会社	4名	東急バス株式会社	3名	東京地下鉄株式会社	3名
東京空港交通株式会社	3名	西武鉄道株式会社	2名	JR東日本鉄道株式会社	1名
大阪市交通局	5名	京阪電気鉄道株	5名	近畿日本鉄道株式会社	3名
南海電気鉄道株式会社	2名	阪急電鉄株式会社	2名	阪神電気鉄道株式会社	1名
大阪星友運輸株式会社	1名	神戸新交通株式会社	1名		

アクセシブルデザインフォーラム・シンポジウム2005

21世紀に入り、日本をはじめ多くの国で、高齢社会の進展が大きな社会課題となってきました。これまでは、ある特定の利用者を想定し、その人達向けの限られた製品やサービスの開発を行うことにより、様々な技術や産業の発展が促されてきました。しかし、来るべき高齢社会では「誰にでも利

用可能とすること：「アクセシビリティ」が時代を支える新しいキーワードとなります。障害のない人達だけではなく高齢者や障害のある人達を含めたより多くの方が、それぞれの立場や状況に応じて、使いやすいように配慮された製品やサービス、生活環境の実現が求められることとなります。そこで、様々な関係者が、高齢者・障害のある人達を配慮した社会の実現に向け、適切な情報交換や課題の共有化、共同研究、ルール作りなどを行う場として、アクセシブルデザイン・フォーラム・シンポジウムを開催します。

ここでは、高齢社会に向けた、新しい社会のルール作りを目指した熱心な議論が展開されるものと確信いたしております。みなさまの多数のご参加をお待ちいたしております。

尚、本シンポジウムは「障害者週間」の関連事業です。

日時：12月5日(月)13:30～17:00

場所：経団連ホール(社団法人日本経済団体連合会 14階)地下鉄大手町駅A1またはC1(徒歩5分)
〒100-8188 東京都千代田区大手町1-9-4 (経団連会館)

定員：460名 (定員になり次第 締め切らせて頂きます)

参加費：無料

<プログラム>

13:30～ 開会挨拶 防衛医科大学教授 アクセシブルデザインフォーラム委員長 菊地 眞 氏

13:45～ セッション1 自治体としてのユニバーサルデザイン実践(仮題) 熊本県知事潮谷義子氏

14:30～ セッション2 公共サービス 内閣府障害者政策担当参事官 長門利明氏

<障害のある方に対する心の身だしなみ～公共サービス窓口における配慮マニュアル>(仮題)

15:00～ 休憩

15:15～ セッション3 障害者・高齢政策 厚生労働省社会援護局障害保険福祉部社会参加推進室室長

<障害者・高齢者の社会参加に関して>(仮題)

15:45～ セッション4 交通 国土交通省総合政策局交通消費者行政課交通バリアフリー対策室長 小澤一男氏

<交通バリアフリー法の見直しと今後の展望>(仮題)

16:15～ セッション5 製品情報 経済産業省環境生活標準化推進室室長 横田 眞氏

<障害者・高齢者製品・サービスの政策・標準化 他>(仮題)

16:45～ 開会挨拶 防衛医科大学教授 アクセシブルデザインフォーラム委員長 菊地 眞 氏

お申込み先及びお問合せ先

ADF シンポジウム 事務局(財団法人日本規格協会 標準部国際課 担当 小峰・三分一)

〒107-0052 東京都港区赤坂4-9-22 虎屋ビル7階 TEL:(03)5770-1596 FAX:(03)5770-1592

<申込方法> 郵送及びFAX、e-mail でお願ひします。

*当日は、事前に申込まれた方から優先的に入場できます。*要約筆記がございます。

氏名、連絡先、TEL、FAX、E Mail をご記入ください。

「参加型福祉の交通まちづくり」が、第3回三井住友海上福祉財団賞を授賞しました

今年2月に発行されました「参加型福祉の交通まちづくり(学芸出版社)」が、この度、三井住友海上福祉財団より、第3回三井住友海上福祉財団賞を頂くことになりました。この賞は、交通安全等並びに高齢者福祉に関する著作・論文に対して、年に1回選定されるものです。これを励みに今後も活動を続けていきたいと思ひます。

「参加型・福祉の交通まちづくり～交通バリアフリー法を中心にプロセスを学ぶ～」が発刊しました

市民参加をどの様にすすめればよいのかを多様な事例をもとに解説し、今後解決すべき課題を示しています。行政、交通事業者、まちづくり・障がい者団体等への基本テキストとして作成しました。2005年2月25日学芸出版社より発行(本体価格2,900円 A5 272頁)しました。概要は、下記ホームページをご覧ください。お買ひ求めについては、一般書店で取り扱っております。

<http://web.kyoto-inet.or.jp/org/gakugei/mokuroku/book/ISBN4-7615-2357-3.htm>

バリアフリー学習図鑑「みんなで考えるバリアフリー」(CD-ROM)の公開

子供達がバリアフリーや福祉に関する学習を進める上で、障害のある人達の日常の不便さ等を知り、ハード面のバリアフリー、ソフト面での(心の)バリアフリーを理解し、バリアフリー社会の

実現を自分のこととして捉えるため親しみやすいCD-ROMを作成しました。現在、交通エコモ財団のホームページにて公開しています。是非ご利用ください。

http://www.ecomo.or.jp/index_img/kaisetsu.htm

らくらくおでかけネット

現在は、鉄道駅3,944駅、空港83、バス180、旅客船456ターミナルの情報を提供しています。最近の1日のアクセス件数は、約4,000件となりました。特に、携帯端末によるアクセスが増えています。また、ハンドル式電動車いすの鉄道利用が可能な駅が公表されています。なお、アドレスは下記の通りです。

アドレス:(パソコン版) <http://www.ecomo-rakuraku.co.jp/rakuraku/index/>

(携帯版=i-mode,vodafone) <http://www.ecomo-rakuraku.co.jp/rakuraku/mobile/>

(携帯版=EZ-web) http://www.ecomo-rakuraku.co.jp/rakuraku/mobile_ez/

公共交通ターミナルのバリアフリー度評価について

公共交通ターミナルのバリアフリー度評価に関する簡易評価マニュアルを公開していますが、こちらには、あくまでも地域の市民や学生の皆様などが自主的に評価に取り組まれる時のために提供していますので、ご自由にお使いください。なお、実際に駅を評価される場合は、皆様の自主的な活動として、鉄道事業者の方にご連絡してください。

(4) 行政からのお知らせ

～すべての人々が安心して生活できるバリアフリー環境を目指して～

都道府県別バリアフリー指標の公表

国土交通省では、バリアフリー施設整備の進捗に、地方公共団体の取り組みに差が見られることから、旅客施設、道路、都道府県庁・市町村役場等の公共建築物、バス車両等のバリアフリー化の状況、交通バリアフリー法に基づく基本構想の策定状況等の個別指標について情報収集を行い、地方公共団体毎にとりまとめて公表することとしました。

これにより、地方公共団体の意識の向上、基本構想作成促進を図り、面的なバリアフリー環境の整備に資することを目的としています。

http://www.mlit.go.jp/barrierfree/barrierfree_.html

交通バリアフリー法移動円滑化基本構想策定状況(平成17年9月30日まで)

基本構想を作成済みの市区町村 191市町村(217基本構想)

詳細はこちらまで

<http://www.mlit.go.jp/barrierfree/transport-bf/basicplan/jyurijyoukyou1709.pdf>

(5) 各種催し物のお知らせ

バスから地域交通を考える会 活動開始12周年記念イベント「使える」から「使いやすく」へ

日時:12月17日(土)18:30~20:45/会場:東京ポラテア・市民活動センター会議室AB 定員80名

ゲスト:和田由貴夫氏 ぽると出版株式会社 バスラマ編集部編集長

川内美彦氏 一級建築士事務所 アクセスプロジェクト主宰

お話 バス・バスラマとの関わりと目指すもの・・・和田由貴夫氏

「交通バリアフリー法の見直しについて」・・・川内美彦氏

シンポジウム・「使える」から「使いやすく」へ・・・司会 星野近人

参加費 500円

要申込み FAX03-3324-5071 buskara@yahoo.co.jp

高齢、障害と自立に関する国際会議 <http://www.icadi.php.ufl.edu/>

日時:2006年2月1日~4日 / 場所:フロリダ大学

第3回 環境&福祉ビジネスフェア in Kumamoto

日時：2006年2月10日～12日 / 場所：グランメッセ熊本

バリアフリー2006 <http://www.itp.gr.jp/bf/>

日時：2006年4月20日～22日 / 場所：インテックス大阪

REHAB Scandinavia 2006 - Cure & Care (2006年 北欧リハビリ展) <http://www.rehab-scandinavia.com/UK-index.htm>

日時：2006年4月25日～27日 / 場所：Bella Center

第9回 国際福祉健康産業展～ウェルフェア2006～

日時：2006年5月19日～21日 / 場所：ポートメッセなごや

(6) その他

書籍に関して

現在バリアフリー関係の書籍、パンフレットを発行しております。ご興味のある方は、当財団のホームページへ、http://www.ecomo.or.jp/barrier_free/bari_f_index.html

記事募集中!

現在、次号メールマガジンに掲載させて頂ける記事を募集中です。セミナーのお知らせや、活動報告、コラム等々何でも結構です。どしどしお寄せください。掲載をご希望の方は、メールかFAXでお送りください。

E-mail: ecomomail@ecomomail.jp FAX: 03-3221-6674

お願い(必ずお読みください。)

・転送先及び、送付先について

このメールマガジンをご転送頂く際は、そのネットワーク、もしくは団体のお名前と人数をお教え頂ければと思います。また、このメールマガジンをなるべくE-mailで送付させて頂きたいと思っております。アドレスをお持ちの方はご連絡ください。

E-mail: ecomomail@ecomomail.jp FAX: 03-3221-6674

コ ラ ム

一年たつのは早いものですね、もう師走となりました。

しかし、年の瀬に大変なことがおきました。地震対策がなされていないマンション問題。

鉄筋を抜くなど自分のことしか考えていない業者、汗水垂らして一生懸命働いて貯めた財産が、そういう輩に奪い取られる。全く憤懣やるかたない。

そんな中、東京都は都営住宅の空いている住宅を退去命令の出たマンション住民に提供することを発表した。確かに一等地にある都営住宅も空いてはいるが、その早急な対応ぶりに賛美を送りたい。

自分のことしか考えてない輩の尻ぬぐいをするのは、真面目にコツコツと暮らす善人である国民となっている。もうこれ以上、同じ社会に暮らす仲間としてやめて欲しいものである。

今年も、嫌な、全く不愉快なことが数多くありましたが、それ以外は贅肉をそぎ落とすときでした。

次の年は、わんわんといぬがまとわりつき幸せを呼び込んでくれるものと信じます。

今後とも皆さんのますますのご健康とご活躍をお祈りいたします。

編集後記

今年も残すところあと1ヶ月となりました。今年一年も皆さまにお読み頂きましたこのメールマガジンも今年の最終号となりました。皆さまからいろいろな情報を頂きましてありがとうございました。今年も沢山の出来事がありましたが、悲しい事故、事件が多かったように感じます。そんな時ほどちょっとした出来事がとても嬉しく、安心を感じますよね。来年はそんな出来事を増やしていきたい1年にしたいと思います。来年もよろしくお祈りいたします。よい新年をお迎えください・・・。